

『平成17年度 街なか再生NPO助成金』

助成事業の報告

本助成金の募集につきましては、今年の2月1日から2月28日までの1ヶ月間行ったところ、関東から沖縄県までの15府県から19件の応募をいただきました。応募いただいた申請書類にあるすべての事業を各選考委員が確認し、決定いたしました。その結果、5件に総額200万円の助成となりました。

■ 平成17年度助成事業一覧

事業名	団体名	実施場所
まちなか子供キャンプ	特定非営利活動法人 クラッセ太田	群馬県太田市
船橋市「本町通りコミュニティ・プロジェクト」	特定非営利活動法人 コミュニティアート・ふな ばし	千葉県船橋市
城下町松代の町並みまちめぐりガイド センターの開設と運営	特定非営利活動法人 夢空間松代のまちと心 を育てる会	長野県長野市
「彦根・旅スポット」	特定非営利活動法人 彦根景観フォーラム	滋賀県彦根市
みんなで考えよう！町並み地域の未来	特定非営利活動法人 ネットワーク竹原	広島県竹原市

事業名称	まちなか子供キャンプ
団体名	特定非営利活動法人 クラッセ太田
事施場所	群馬県 太田市

事業概要:

本事業は、太田駅周辺で実施されている面整備事業と連携して中心市街活性化を目的に作られた施設において、「まちなか子供キャンプ」の実施である。

まちづくりの次世代を担う子どもたちに向け継続的に、まちなかの生活体験や歴史の勉強を通じて、まちなかの良さを再認識してもらい、また、まちづくりのあり方を理解してもらうもの。

実施報告:

- ・ 市内の小学生を公募し、中心市街地にある「まちなか交流館」を使い、夏休みにキャンプを実施。
- ・ 子どもたちにまちなか生活の良さを再認識してもらうために、商店街での買物、公衆浴場でのマナー、市の歴史、災害非難体験を学んでもらい、次代を担う人材育成をしながら、活性化や市街地整備の意識を持ってもらった。



事業名称	船橋市「本町通りコミュニティ・プロジェクト」
団体名	特定非営利活動法人 コミュニティアート・ふなばし
実施場所	千葉県 船橋市

事業概要:

船橋市本町通りは古くから成田詣の要衝として栄えてきたが、基盤施設が弱いままマンションなどが建設され新住民が増え、コミュニティが崩壊してきている。人のつながりや新住民の参加ができる仕組み作りのために、市のメインストリートとしての誇りを持つことが重要なことから、本町通り周辺地域において、

- ①歴史を体感するプログラム(郷土史家の公開講座、地域高齢者による語り部の会実施)。
- ②魅力を表現するプログラム(まち歩きマイスター養成講座、まち歩きツアー実施、地域資源マップ作成)。
- ③力を創造・発信するプログラム(ポタライブ上演、船橋まちづくりフォーラム開催)を実施する事業である。

実施報告:

- ・ 地域における、通り、歴史的建造物、商店街、NPO といった地域資源を「体感」「表現」「創造」「発信」の4つのアプローチから、新旧住民が主体的に地域コミュニティに参加できるプログラムを実施
- ・ 「船橋まち歩きマイスター」養成講座、情報誌ふなPICO発刊、地域の歴史を元に、市街地を回遊しながら体感する演劇「ポタライブ」などを通じ、継続性のある活動となった



事業名称	城下町松代の町並みまちめぐりガイドセンターの開設と運営
団体名	特定非営利活動法人 夢空間松代のまちと心を育てる会
事施場所	長野県 長野市

事業概要:

真田十萬石の城下町松代は、歴史的文化的遺産が豊富に残っており多くの観光客が来訪するが、城を中心とするこれらは市の中心市街地とは離れており、まちの活性化に結びついていないことから、

①城下町松代のまちめぐりガイドセンターを開設し、ガイド養成講座も開講。 ②まちめぐり情報を観光客に提供。 ③まちめぐりガイドによる案内。

などにより商店街への回遊性など市街地のにぎわいを創出する事業である。

実施報告:

- ・ 歴史的文化的遺産を巡る来街者を中心商店街へも回遊してもらうために「松代まちめぐりガイドセンター」を開設するとともに、まちめぐりガイドを養成する講座を開講
- ・ まち歩きルートを開発してまちめぐりガイドブックを作成発行し、市街地の魅力や情報を市民や来街者に提供した



事業名称	「彦根・旅スポット」
団体名	特定非営利活動法人 彦根景観フォーラム
事 施 場 所	滋賀県 彦根市

事業概要:

彦根城の城下町として多くの歴史、文化、伝統等の資産があるが、近年の中心部の空洞化、高齢化により残すべき街並みが壊れてきている。このため、まちの資産を生きながら街の活性化を図るために、

- ①空き町屋を活用した「街博物館」を創設。
- ②街の埋もれた“歴史の宝物”の発掘・展示。
- ③ユビキタス技術を活用した学習型観光システムの実験・開発及び観光マップ作成・資料収集。
- ④情報発信の場・住民憩いの場として活用。

を実施する事業である。

実施報告:

- ・ 空き町家を活用した街博物館を創設し、街に埋もれる“歴史の宝物”の発掘・展示、ユビキタス技術を活用した学習型観光システムの実験などを実現化するために、古民家ゾーンに残る力石邸を改装
- ・ 人と情報が集まる街中プラットフォーム「街の駅 寺子屋力石」を開設した



事業名称	みんなで考えよう！町並み地域の未来
団体名	特定非営利活動法人 ネットワーク竹原
実施場所	広島県 竹原市

事業概要:

竹原市の貴重な財産である町並み地域(重要伝統的建物群保存地区)において町並み保存による、町の活性化、まちづくりに対する住民意識、参加意識の向上を図るため、

①空き家バンクの設立・運営(空き家情報収集、活用方法の研究・普及、活用策の実施など)。②コミュニティ組織づくり(空き家、留守宅の清掃、補修ボランティアの組織づくりを通してコミュニティの育成)を実施する事業である

実施報告:

- ・ 空き家バンク「たけはら町並み倶楽部」の運営(特区認定)において、空き家情報の登録及び入居希望者情報の収集を行い、活用方策としてホームページを開設し広く情報提供した
- ・ 空き家を補修し、入居案内やイベントの実施

